

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 30, No. 1 神奈川県立生命の星・地球博物館 Mar. 2024



ニホンカモシカ *Capricornis crispus*

KPM-NQM 418D

神奈川県足柄上郡松田町寄

2020年3月12日 鈴木 聡 撮影

すずき さとし
鈴木 聡 (学芸員)

ニホンカモシカは、本州・四国・九州に分布する^{くじらぐりていもく}鯨偶蹄目ウシ科の日本固有種です。かつては狩猟の対象となっており、肉や毛皮が利用されていました。しかし、乱獲により個体数が著しく減少したため、1925年に捕獲が禁止され、1955年には国の特別天然記念物に指定されました。保護の甲斐あって、中部地方などでは個体数が増加していますが、農林業被害が問題となっています。一方、四国や九州などでは個体数が回復しておらず、今も絶滅の危機に^{さら}晒されています。

神奈川県において、本種は準絶滅危惧種に選定されています。主な生息地は丹沢山地で、生息密度は0.4頭/km²と推定されています。丹沢山地の面積は約400 km²なので、この推定に基づくと、生息数はたった160頭です。本種は、2017年頃から箱根でも確認されています。周辺地域から分布を広げ、新たに定着したものと推測されます。

神奈川県内における本種の分布や生態については、不明な点が多く、保護のためにより詳細な調査が必要です。